

平成27年度三重県農村地域資源保全向上委員会（第1回）の議事概要

■ 開催日時

平成27年7月7日（火）9時30分から11時45分まで

■ 開催場所

三重県勤労者福祉会館 2階 第2会議室（三重県津市栄町1丁目891番地）

■ 出席委員

大野委員長、伊藤委員、奥山委員、丸山委員、宮村委員 計5名

■ 議事概要

1 日本型直接支払制度について

（1） 多面的機能支払について

・事務局より、平成27年度多面的機能支払の取組計画について説明を行った。

（委員）みえのつどいで、農地等と一体的に守るべき「水」をテーマにしてはいかがですか。また、長く活動を続けている活動組織は、さらにステップアップするための助言が必要な時期にきているのではないのでしょうか。

（事務局）このようなテーマは、重要だと思うので、みえのつどい等に取り入れていけるよう検討します。

（2） 中山間地域等直接支払について

・事務局より、平成27年度中山間地域等直接支払の取組計画について説明を行った。

（委員）この制度では、取組集落にとって事務処理が負担になっているということはありませんか。また、事務を代行する組織等がありますか。

（事務局）集落からの提出書類は、比較的簡素なものだと考えています。また、事務代行組織はなく、市町がサポートしています。

（委員）この制度の取組み面積が近年拡大していないのはなぜですか。

（事務局）よい制度だと考えているが、過去15年の取組で意欲のある集落はすでに実施していること、高齢化する集落において新たに5年間の協定を結ぶことに不安を感じていることなどが考えられます。

（委員）特認地域の指定について、今回は変更などありますか。

（事務局）今回は、指定基準に変更はありませんが、統計データの変動に伴い、指定地域の候補が2か所増えました。

(3) 環境保全型農業直接支払について

・事務局より、平成27年度環境保全型農業直接支払の取組計画について説明を行った。

(委員) 年度によって取組面積に増減があるのは、どのような理由でしょうか。

(事務局) 天候の影響などにより、播種や作業が出来ないなど計画していた取組が実施できなかったことや、やむなく農薬を使用せざるを得ない状況となり交付金対象外となるなどで取組面積の増減があります。

(委員) 化学肥料、化学合成農薬の5割低減の取組はどのように確認するのでしょうか。

(事務局) 申請者から生産記録を提出していただき、県の慣行レベルから5割以上低減されているか確認しています。

(委員) 三重県の取組は、他県と比べ、どうでしょうか。

(事務局) 取組面積的には、中間位の位置となっています。

(委員) I P Mの取組は要望があって県の特認としているのでしょうか。

(事務局) 県では、以前からI P M推進していたこともあり、さらに進めていきたいということで県特認取組としています。

(委員) I P Mとか有機農業を拡げていく方法はどのようなことがありますか。

(事務局) 交付金事業の活用推進、有機農業団体への推進などを考えています。

3 中山間ふるさと水と土保全対策について

・事務局より、平成27年度中山間ふるさと水と土保全対策事業の計画について説明を行った。

【三重のふるさと応援カンパニー推進事業】

(委員) 活動推進アドバイザーとはどのようなものか。

(事務局) 企業と農村のマッチングに取り組むN P Oや、企業C S R活動の推進に取り組むN P Oの方などをこれから新たに取り組もうとする企業や農山漁村に派遣する制度です。

(委員) 三重のふるさと応援カンパニー推進大会は、実際にC S Rに取り組んでいる企業や農業者が参加する大会ですか。

(事務局) シンポジウムは「三重のふるさと応援カンパニー推進大会」と、昨年度まで「中山間地域活性化シンポジウム」として開催していたものを今年度から「みえのふるさと応援シンポジウム」として開催します。

【子ども農山漁村ふるさと体験推進事業】

(委員) 子ども農山漁村ふるさと体験の受け入れ実績はどのようになっていますか。

(事務局) 受入地域協議会における体験受入人数は年々増加しています。

(委員) 県内の学校へのPRはどのように行っていますか。

(事務局) 教育委員会と連携して、校長会などの場でPRを行っています。

【三重の里いなか旅のススメ発刊】

(委員) 情報に動画を取り入れてはどうですか。高校生などに、動画作成に協力していただくと楽しさを伝えられると思います。

(事務局) 検討します。

【ふるさと水と土農村環境創造事業】

(事務局) 伊賀市種生地域が第3期に取り組むため、全体事業計画書の提出があったため、助言指導をいただきたい。

(委員) ハギなど自生の植物を活かした景観作りに取り組んでほしいと思います。また、有料体験プログラムを充実するなど、補助金に頼らない自立した活動にしてほしいと思います。

(委員) 他にも、棚田の畦畔、地区内の交流施設、地域の空き家、散策路なども含めて統一感のある景観作りをお願いしたいと思います。

(事務局) 委員会での意見を伝え、活動を改善していただくよう努めます。

(委員) 多面的機能支払など、地域で受けている他の補助金等でまかなえる活動ではないのですか。

(事務局) この活動は、他の補助金では対象とならない部分を行っていると考えていますが、そのことが常に明確に説明できるよう求めていきます。

4 その他

・特になし

■ 会議の公開・非公開

公開

■ 傍聴者・報道関係者

なし

■ 問い合わせ先

三重県津市広明町13番地

三重県農林水産部農業基盤整備課農地水保全班

担当：永井、伊藤 TEL 059-224-2551